

SNS 上の違法・有害情報に対するリプライ警告

自動化システム開発業務仕様書

1 委託業務の名称

SNS 上の違法・有害情報に対するリプライ警告自動化システム開発業務

2 委託業務の目的

当県警では、SNS に氾濫する「闇バイト」等をはじめとする違法・有害情報に対する個別警告（以下、リプライ警告という。）を捜査員による手作業で実施しており、業務の効率化が課題となっていたところである。

本業務は、違法・有害情報の収集、警告文等の投稿等の作業について、一部 RPA ツールを導入し、効率的・効果的にリプライ警告を実施することにより、SNS を通じた犯罪の未然防止を図るものである。

3 委託期間

契約締結日から令和 6 年 7 月 31 日（水）

4 業務内容

(1) システム概要

ア 対象 SNS

X

イ 基本作業工程

(ア) X の API により検索キーワードから投稿を自動で抽出する。

(イ) 指定した投稿について、投稿の内容、URL 等を自動で保存する。

(ウ) X の API により指定した投稿に対して自動で返信する。

(エ) 返信した投稿の状況について、自動で確認する。

ウ 導入課

生活安全総務課

エ 備考

(ア) 基本作業工程の作成に当たっては、RPA ツールによるシナリオを作成するほか、X の API と連携するプログラムの選定に当たっては、当県警と協議して決定すること。

(イ) 基本作業工程のインターフェースの仕様等の詳細については、当県警と協議して決定すること。

(2) RPA ツール

下記の要件を満たした RPA ツールを調達し、シナリオを作成するものとする。

参考製品：RPA ツール「アシロボ」

No	要件	内容
1	開発・実行環境	<ul style="list-style-type: none"> ① シナリオの作成が容易で、プログラミング、コーディング知識が不要であること。また、部品の使いまわしが可能であること。 ② ロールベースのアクセス制御で各ユーザーがどのロボットをどう操作可能かを設定可能であること。 ③ それぞれのロボットやロボット実行環境で、リアルタイムでの動作確認が可能であること。 ④ バージョン管理機能により、古いバージョンとの比較やロールバックが可能であること。 ⑤ ロボットに必要なファイルを依存関係からエクスポート、インポートが可能であること。 ⑥ ロボットは開発環境と実行環境が同じであること。 ⑦ 物理端末にインストールを行い、オンライン／オフラインいずれの環境でも利用できること。 ⑧ すべての操作情報やアクションを実行ログとして残すことができること。 ⑨ 設定した期限までに実行させるスケジューリング機能があること。 ⑩ ロボット単体でスケジュール設定および実行ができること。 ⑪ オブジェクト、座標、画像それぞれをレコーディングできる機能があること。 ⑫ 無償で利用できるロボットマーケットプレイスがあること。 ⑬ スケジュール機能を使用し、メール受信、API をトリガーとしてロボット起動が出来ること。 ⑭ 設定されたオブジェクトのユーザーインターフェースが変更されてもエレメントの変更が無ければ自動認識が可能であること。 ⑮ ロボット実行動作を目視確認ができること。
2	拡張性	<ul style="list-style-type: none"> ① 規模に応じてロボット開発／実行環境数の増減が可能であること。 ② シナリオの登録本数とサイズに制限がないこと。 ③ 同じ端末の場合、複数ユーザアカウントでの同一ライセンスキーでの使用が可能であること。
3	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ① パスワード情報など文字データを暗号化して保持できるなどの対策がとれていること。 ② ロボット実行時にパスワード情報など文字データの入力を行い、その値を一時的に変数に格納し保持できる機能があること。 ③ 全ログが秒単位で取得でき、監査にも利用できること。 ④ 権限管理設定ができ、使用者が意図的にシナリオ改編を行う暴走行為（野良ロボ対策）を防ぐ機能があること。

(3) 端末

下記の当県警が所有するパソコンで、動作可能な状態とする。

PC	スペック	役割
1	OS : Windows 11 Home 64bit CPU : インテルCore i7 メモリ : 16GB モニタ : 15.6インチ フルHD	ロボットの開発及び実行

5 協議・会議

本作業実施状況の報告、問題点の解決、その他本作業実施のために必要な事項を協議するため、必要に応じて会議を開催する。当県警及び受託者はこの会議を行うことを相手方に要求できるものとする。

6 納品物品

(1) 納品物件

納品物件は以下のものとする。

納品物件一覧	
プロジェクト関連	RPA シナリオ作成関連
① マニュアル及びFAQ	② ロボット仕様書
	③ ロボット利用手順書
	④ 業務完了報告書

(2) 納入先

生活安全総務課へ納入すること。

(3) 納品期限

令和6年7月31日

7 権利許諾

本業務に利用するために、当県警が受託者に提供する業務情報等に関する著作権、商標、その他の知的財産権のすべては、当県警に帰属するものとする。提案者はこれらの情報等（データを含む）については、システムに使用する以外、当県警の許可なくして他に流用してはならない。

8 保証

- (1) 受託者は、シナリオが本仕様通りに機能することを保証するものとする。
- (2) SNS、OS の仕様変更に伴い、シナリオの変更等が生じた時は、受託者が対応するものとする。
- (3) 本業務の成果物に関して瑕疵等が認められた場合は、受託者の責任及び負担において迅速かつ無償で是正処置を実施すること。

9 RPA ツール環境構築体制

(1) 契約

作成したシナリオを円滑に実行するため、受託者は別途契約により、RPA ツール環境構築業務を行うものとする。

(2) RPA シナリオ作成等支援及び教育体制の準備

当県警の職員が行う RPA シナリオ作成にあたり、発生した疑問点やエラー等に対して、それらを解消するための方策を検討し、解決方法を直接支援できること。(再委託不可)

支援または教育に関する研修実施方法は、オンサイト及びオフサイトにて、当県警職員に対して行うこと。業務期間中の具体的な支援方法・支援内容は、当県警職員に対してヒアリングを行い、別途決定することとする。

また、支援または教育を実施する研修講師担当は、本 RPA ツールを用いたシナリオ開発及び支援経験を 3 年以上有するものとする。